

分野	33	生涯学習・文化・スポーツ	通番 76
施策	333	スポーツの振興	
5年後の目標		心身の健康を保つため、運動・スポーツに親しみ、これを通じた交流を楽しんでいる。	

概要							
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)	予算科目			決算額(円)	担当課	
	総合型地域スポーツクラブ 推進事業	会計	款	項	目	2,657,880	文化・スポーツ 振興室
		一般	10	5	1		
	事業の概要						
	生涯スポーツ社会の実現のため、全ての小学校区での総合型地域スポーツクラブの設立に向けた支援を行います。						

令和元年度の取組						
D (取組)	指標	総合型地域スポーツクラブの設立数				単位 小学校区
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1 2
	5(平成26年度)	目標	6	7	8	9 10
		実績	6	7	7	8
	・定着活動3年目である長岡第十小学校総合型スポーツクラブ(倶楽部・てん)に15万円、創設活動2年目である長岡第三小学校区総合型スポーツクラブ(さんSUNスポレククラブ)に150万円を活動支援として補助し、クラブの運営基盤づくりに取り組みました。 ・地域スポーツの振興を図るため、スポーツに親しむ行事等の実施を各校区に委託しました。 ・未設立地区に対しては、長岡京市総合型地域スポーツクラブ協議会と連携し、設立に向けた働きかけを継続的に実施しました。				スポーツフェスティバルの様子(長十小) 	

施策の「5年後の目標」に対する評価					
令和元年度の達成状況					
C（評価）	評価指標	関連する評価指標		評価指標の傾向・トレンド	対応頁
		市民スポーツ実施率		年代別でみると、20歳代～40歳代の運動実施率が低く、若年層や働き盛り世代に対する運動・スポーツの機会や場の提供が求められます。	203
	達成度合	B:目標をほぼ達成できた(目標の80%～100%程度)	達成状況	・新たに長岡第八小学校区で総合型地域スポーツクラブ「8スルくらぶ」が設立されました。 ・現在8つの校区で総合型地域スポーツクラブが設立され校区住民のスポーツ実施の機会拡大につながっています。	
	課題等	・未設立の校区では、総合型の事業が校区住民の健康増進、スポーツ推進には重要としつつも、総合型設立に向けた関心度は他校と異なります。 ・未設立の校区に対し、地域住民が総合型地域スポーツクラブの設立意義を理解し、組織の設立や実施意欲を高めるための活動が必要です。			

目標達成に向けての次年度以降の対応	
方向性	対応策等
A (行動)	1:計画通りに進めることが適当 ・総合型地域スポーツクラブの未設立校区には、引き続き総合型地域スポーツクラブの意義について、長岡京市スポーツ協会と協力しながら、「核となる人や団体」に向けて啓発を行ない、その必要性の理解を求めます。 ・新しく設立された総合型地域スポーツクラブに対しては、活動拠点の整備や必要備品の購入等の調整を行います。

分野	33	生涯学習・文化・スポーツ	通番 77
施策	333	スポーツの振興	
5年後の目標		心身の健康を保つため、運動・スポーツに親しみ、これを通じた交流を楽しんでいる。	

概要							
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)	予算科目				決算額(円)	担当課
	スポーツ交流推進事業	会計	款	項	目	10,616,789	文化・スポーツ 振興室
		一般	10	5	1		
		事業の概要					
市民が地域で運動やスポーツに親しむ全市的なイベントを開催します。 また、小中学校の体育施設を開放し、運動やスポーツのできる環境の確保に努めます。							

令和元年度の取組						
D (取組)	指標	学校開放利用件数				単位 件
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1 2
	9,805 (平成26年度)	目標	9,800	9,800	9,800	9,800
		実績	9,283	9,752	9,627	9,212
	・市民大運動会を全校区一斉に開催しました。 ・市民が運動・スポーツに親しむ機会を提供するため、市民スポーツフェスティバルを開催しました。 ・西山公園体育館や長岡第四・第五小学校区で幼児を対象とした運動遊びの取り組み(幼児元気アップ推進事業)を実施しました。 ・学校開放事業及び夜間照明施設利用により、小中学校施設を開放し、市民がスポーツをする機会を提供しました。 ・地域スポーツの振興を図るため、スポーツに親しむ行事等の実施を各校区に委託しました。				市民大運動会の様子(長四小)	



施策の「5年後の目標」に対する評価						
令和元年度の達成状況						
C (評価)	評価指標	関連する評価指標				評価指標の傾向・トレンド
		市民スポーツ実施率				年代別でみると、20歳代～40歳代の運動実施率が低く、若年層や働き盛り世代に対する運動・スポーツの機会や場の提供が求められます。
	達成度合	B: 目標をほぼ達成できた(目標の80%～100%程度)	達成状況	・新型コロナウイルス感染症の影響により、学校体育施設の利用を2月～3月の期間中止としたため、学校開放利用件数は昨年度を下回る結果となりました。 ・市民大運動会では「長岡京ギネス」と称した、全校区共通の競争性のあるプログラム(玉入れ)を継続して実施しました。 ・市民スポーツフェスティバルでは、乙訓高校と連携してフェンシング教室や陸上教室を実施したり、体力測定、個人開放や総合型クラブフェスティバルを開催し、市民がスポーツできる場を提供しました。		
	課題等	・学校開放の利用者が固定化しており、新たな利用者・団体等の利用が進んでいません。 ・市民大運動会の参加者数が伸び悩んでいます。				203

目標達成に向けての次年度以降の対応		
A (行動)	方向性	対応策等
	1: 計画通りに進めることが適当	新型コロナウイルス感染症を考慮し、第58回市民大運動会は中止となりました。今後は、新しい生活様式に準じた中で、実施可能な市民スポーツの推進事業を検討します。

分野	33	生涯学習・文化・スポーツ	通番 78
施策	333	スポーツの振興	
5年後の目標		心身の健康を保つため、運動・スポーツに親しみ、これを通じた交流を楽しんでいる。	

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	若葉カップ全国小学生 バドミントン大会支援事業		会計	款	項	目	6,700,000	文化・スポーツ 振興室
			一般	10	5	1		
	事業の概要							
	全国の小学生にバドミントン競技をする機会を広く提供し、交流と友情を深めるために、若葉カップ全国小学生バドミントン大会の実施を支援します。 また、2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催に合わせて、世界各国の子どもたちとの交流と国際理解を深め、子どもたちの国際社会での活躍を願いバドミントン競技によるスポーツ交流事業を展開します。							

令和元年度の取組						
D (取組)	指標	若葉カップ開催支援の継続				単位 ー
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1 2
	若葉カップ開催 (平成26年度)	目標	若葉カップ開催支援	若葉カップ開催支援	若葉カップ開催支援	若葉カップ開催支援
		実績	若葉カップ開催	若葉カップ開催	若葉カップ開催	若葉カップ開催
	・若葉カップの開催を支援するため、実行委員会へ補助金を交付しました。 ・第35回記念事業として、バドミントン元日本代表 小椋久美子氏を招待し、エキシビジョンマッチとトークショーを実施しました。 ・日本代表選手の写真やメッセージを使用し、記念誌やプログラムを作成しました。 ・大会期間中は、必勝祈願の旗を掲示し、子どもたちによる寄せ書きを実施しました。 ・若葉カップの開催時期に合わせ、「未来への種まきプロジェクト」として、インドネシア小学生バドミントンチームを招へいする予定でしたが、相手国からの申出により、中止となりました。				若葉カップ大会での寄せ書きの様子	



施策の「5年後の目標」に対する評価						
令和元年度の達成状況						
C (評価)	評価指標	関連する評価指標		評価指標の傾向・トレンド		対応頁
		—		—		—
	達成度合	A:目標を達成又は上回って達成できた(目標の100%以上)	達成状況	・第35回若葉カップ全国小学生バドミントン記念大会を開催し、「バドミントンのまち」として長岡京市のイメージをHP等で全国に発信しました。		
	課題等	・小学生バドミントンの甲子園として認知されつつあります。より一層、市民や全国に認知されるように取り組む必要があります。				

目標達成に向けての次年度以降の対応	
A (行動)	方向性 1: 計画通りに進めることが適当 対応策等 ・新型コロナウイルス感染症拡大を考慮して、若葉カップ・「未来への種まきプロジェクト」は中止となりました。その代替策として、日本代表選手からの応援メッセージのHP掲載や動画配信などの企画を検討します。

分野	33	生涯学習・文化・スポーツ	通番 79
施策	333	スポーツの振興	
5年後の目標		心身の健康を保つため、運動・スポーツに親しみ、これを通じた交流を楽しんでいる。	

概要							
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)	予算科目			決算額(円)	担当課	
	スポーツ活動推進・支援事業	会計	款	項	目	46,435,000	文化・スポーツ 振興室
		一般	10	5	1		
	事業の概要						
スポーツ振興を図るため、長岡京市スポーツ協会の活動へ支援を行います。							

令和元年度の取組						
D (取組)	指標	府民総体予選会参加市民数				単位 人
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1 2
	1,146 (平成26年度)	目標	1,180	1,210	1,240	1,270 1,300
		実績	1,067	1,160	991	1,039
	・市内スポーツ団体を統括する団体でもあり、行政の役割を補完する団体でもある公益財団法人長岡京市スポーツ協会の組織の基盤強化、加盟団体の育成支援を図るために補助金を交付しました。 ・府民総体壮行会や報告会を行い、参加者の機運を盛り上げる取り組みを行いました。 ・西山公園体育館で幼児を対象とした運動遊びの実践として「幼児元気アップ推進事業」を実施しました。 ・「幼児元気アップ推進事業」のモデル校区（長四小、長五小）において、総合型地域スポーツクラブと校区スポーツ推進委員が連携し取り組みました。				スポーツ協会支援事業 「みんなのスポーツデー」 	

施策の「5年後の目標」に対する評価				
令和元年度の達成状況				
C (評価)	評価指標	関連する評価指標		評価指標の傾向・トレンド 対応頁
		—		—
	達成度合	B: 目標をほぼ達成できた(目標の80%～100%程度)	達成状況	・目標は達成できませんでしたが、実績は昨年度を上回りました。 ・総合第4位に入賞し、スポーツ推進計画の目標の一つである「常時入賞」は達成しました。 ・公益財団法人長岡京市スポーツ協会に対し、補助金の交付及び活動支援を行いました。
	課題等	・府民総体予選会参加者をさらに増やす必要があります。 ・「幼児元気アップ推進事業」の認知度が低いことが課題です。		

目標達成に向けての次年度以降の対応	
A (行動)	方向性 1: 計画通りに進めることが適当 対応策等 ・府民総体参加者の機運を盛り上げるための壮行会や報告会を引き続き開催します。 ・「幼児元気アップ推進事業」を市民に認知してもらうための効果的な広報活動を行います。

分野	33	生涯学習・文化・スポーツ	通番 80
施策	333	スポーツの振興	
5年後の目標		心身の健康を保つため、運動・スポーツに親しみ、これを通じた交流を楽しんでいる。	

概要							
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課
	スポーツ施設環境の整備	会計	款	項	目	34,612,524	文化・スポーツ 振興室
		一般	8	4	6		
		一般	10	5	2	13,966,548	
	事業の概要						
多くの市民が利用する体育館など、運動・スポーツ施設の環境を改善するため施設整備を進めます。							

令和元年度の取組						
D (取組)	指標	体育館等施設利用者数(西山公園体育館・スポーツセンター)				単位 人
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1 2
	239,289 (平成26年度)	目標	252,500	255,000	257,500	260,000 262,500
		実績	207,930	256,477	281,407	268,232
	・西山公園体育館は、施設の老朽化に伴う不具合が発生した際に、指定管理者と協議のうえ、修繕を行いました。 ・スポーツセンターは、施設改修の規模や内容について検討しました。				スポットクーラー(スポーツセンター) 	

施策の「5年後の目標」に対する評価					
令和元年度の達成状況					
C (評価)	評価指標	関連する評価指標		評価指標の傾向・トレンド	対応頁
		—		—	—
	達成度合	A:目標を達成又は上回って達成できた(目標の100%以上)	達成状況	・利用者数が目標値を上回りました。 ・西山公園体育館は、利用者数も多く使用頻度が高い卓球台を購入しました。また、パルスボール時計が故障したため、修繕を行いました。 ・スポーツセンターは熱中症予防のため、スポットクーラーを購入し、快適な利用環境を整備しました。	
	課題等	・スポーツセンターの体育館・グラウンドなど整備方法、規模などについて課題となっています。 ・施設整備の改修方法、改修規模、改修時期などについて引き続き検討が必要となります。			

目標達成に向けての次年度以降の対応	
A (行動)	方向性 1:計画通りに進めることが適当 対応策等 ・スポーツセンターの改修に向けて、利用団体へのアンケート調査を実施します。 ・アンケートを基に市民が求める施設の方向性をまとめ、スポーツセンター再整備に向けた基本構想・基本計画に繋げていきます。